

# 令和2年度 事業計画

## I. 九州オープンイノベーションセンターの目的と役割

### 1 九州オープンイノベーションセンター（KOIC）の設立

- ・ AI、データ、IoT、クラウド等のデジタル技術が経済社会のあらゆる場面に浸透し、それら駆使した様々なビジネスが発生する一方、市場ではカスタム化が進展し、SNS 情報が市場の動向を左右するなど、需要の主導権が消費者側に移行する構造に変化している。
- ・ このような技術革新や市場の急激な変化に対し、単独の企業の対応には限界があり、自社の経営資源をオープンにして、外部の経営資源と組み合わせ、短時間・低コストで新商品やサービス及び新たな価値を創出するオープンイノベーションの取組みが期待されている。
- ・ このオープンイノベーションの手法を活用した九州の企業の新事業創出を目的とするプラットフォームとして、九州オープンイノベーションセンター（KOIC:Kyushu Open Innovation Center）を（一財）九州産業技術センターと（一財）九州地域産業活性化センターの統合により、2020年4月1日に設立する予定である。
- ・ 過去の成功体験がもはや通じなくなっている今日、自社の経営資源と国内外の知見や技術と融合させて、世界の市場を獲得する時代に突入しているとの認識のもと、九州オープンイノベーションセンターは、このような世界の新しい動きを取り入れて、世界の中で飛躍する中小企業の支援を通じ、令和の新時代の九州の新しい成長に貢献する。

### 2 KOICの目的と役割

- ・ KOIC は、オープンイノベーションというツールを活用して、新製品・サービスやビジネスモデルの開発、それらを利用した新事業の創出及びそれを通じた九州の経済社会の活性化を目的とする。
- ・ さらに、アプローチの方法として、人口減少等の様々な社会課題を新たな市場と捉え、産業のイノベーションにより解決し、それを広く横展開することで社会のイノベーションを興し、この2つのイノベーションを通じ、「課題の解決と新市場を創出する先導地域九州」の実現を基本的な役割とする。
- ・ さらにこれらの目的を達成し、役割を果たすためのプラットフォームとして、世界のイノベーション地域との交流の場、ニーズ・シーズ等の外部の経営資源や市場ニーズ等を探索し事業化する場、異業種が交流して新事業を創出する場、大学のシーズを起業化する場、様々な人材を育成する場などの「6つの場」と場を動かす仕組みを構築し、企業等のオープンイノベーションを支援する。

- ・また、KOIC 自ら、人材・情報のオープン化と大学や他の産業支援機関との一層の連携・協力によるオープン化により、効率的な事業を展開する。

### 3 令和2年度の事業概要

- ・目的と役割を踏まえ、6つの場であるオープンイノベーションのプラットフォームを活用して、新事業やビジネスモデル等のアイデアや発想からニーズ・シーズの発掘とマッチング、技術開発・実装、事業化まで一貫したコーディネート活動を行う。
- ・新事業やビジネスモデル等のアイデアや発想を取り込むため、世界のオープンイノベーション拠点との交流と情報収集を行うとともに、デジタル技術を駆使した新しいビジネスを研究し、共同プロジェクトを組成する研究会の設置、変革する市場ニーズを消費行動の変容等のデータから分析し提供する市場ニーズ探索会の設置、オープンイノベーションのスキルや人的ネットワークを構築を目的とした様々な異業種との交流会を設置することにより、KOIC をオープンイノベーションの拠点化を推進する。
- ・また、新製品・サービスの技術開発と事業化を支援するため、企業等のニーズやシーズを発掘し、国等の技術開発事業をつなげるとともに、成功報酬型コーディネーターによる個別企業の事業化支援を行う。
- ・地域産業の活性化に大きな役割を果たす大学発ベンチャーを興すため、試作開発費等の支援をするとともに大学の起業家教育を支援する。
- ・九州・沖縄地方成長産業戦略（九州-沖縄 Earth 戦略）において、戦略産業に位置づけられている環境・エネルギー、ヘルスケア、農業・食品製造業及び横断的分野である IoT・国際化・SDGs 経営等について、それらの推進機関と連携し、オープンイノベーションによる新事業や雇用の創出などの戦略の目標の達成を支援する。
- ・また、新しい課題を発見し、デジタル技術やオープンイノベーションで解決する構想力や見識・スキル等を持った人材を育成する人材育成事業を行う。

## II. 個別事業

### 1. 振興支援事業

---

#### 【世界のイノベーション地域との交流の場】

(1) オープンイノベーションによる新事業創出支援事業 【自主事業】 10,000 千円

① 世界のオープンイノベーション拠点との交流事業 【新規・自主事業】 2,000 千円

- ・オープンイノベーションにより革新的なビジネスモデルや製品やあるいはベンチャーが生まれている米国シリコンバレー、ドイツフラウンホーファー、イスラエル、中国 深圳市、オラン

ダ等の世界的なオープンイノベーション拠点と直接交流することにより、オープンイノベーションの発想や仕組みを活用するとともに、各拠点の企業や投資家等と連携した新事業の創出を支援する。

- ・具体的には、まず、現地で起業した起業家や投資家及び専門家等による「世界オープンイノベーション拠点セミナー」を開催する。例えば、イスラエルのイノベーション戦略セミナー、シリコンバレーの最新ビジネスモデルセミナーなど。
- ・また、九州の企業と各拠点の投資家等との具体的なビジネスマッチングを目的とした 世界のオープンイノベーション拠点へのビジネスミッションの派遣を企画する。
- ・交流窓口としては、米国シリコンバレー、ドイツフラウンホーファー協会（同日本法人）、イスラエル（在日本大使館他）、中国深圳市、オランダワーヘニンゲン大学等が想定される。

### 【ニーズ・シーズ等の外部の経営資源や市場ニーズ等を探索し、事業化する場】

#### ② 九州オープンイノベーションプロジェクト研究会 【新規・自主事業】 3,000 千円

- ・データエコノミー、シェアリングビジネス、5G ビジネス、カスタマイズビジネスなどデジタルトランスフォーメーション（DX※）による技術革新やものづくりと融合した商品・サービス等のプロジェクトを組成するため、九州オープンイノベーションプロジェクト研究会を開催する。
- ・具体的には、データエコノミー、シェアリングビジネスを中心に、関心がある企業・大学・全国団体等を募集し、ワークショップ、先進事例研究等の研究会活動を通じ、参加者が連携して課題を抽出し、試作・開発・実証等を行い、事業化を進めるとともに、必要に応じ技術開発等のプロジェクトを組成し、国等の補助事業に申請する。
- ・これらの活動を通じ、KOIC が九州における産学官連携によるデジタルトランスフォーメーションの拠点を形成する。

※データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること（経産省 DX 推進ガイドライン）

#### ③ 市場ニーズ探索研究会 【新規・自主事業】 5,000 千円

- ・単身世帯の増加や高齢化等の人口の変動や働き方改革、時短、見守り等の社会構造の変化に加え、デジタル技術を利用した SNS の浸透、シェアリング等の消費行動など、様々な市場で変化が生じている。
- ・これらの変化をいち早く捉え、的確な製品・システム・サービス等を開発し、提供するため、市場のニーズを分析し研究する市場ニーズ探索研究会を設置する。

- ・具体的には、特定のターゲット市場を決定し、関心がある企業等が参加して、課題を抽出し、分析して、その結果を参加者に還元する。
- ・例えば、子どもを預けて働く 30 代女性向けの市場をターゲットに、地域・社会・行動等を細分化し、ソーシャルメディアや EC サイトデータ、政府統計データ等を分析した上で、市場・顧客、競合他社、製品、価格を推計・試算する。参加機関の参加費で運営し、市場分析調査の外注費の一部は KOIC が負担する。

### 【大学シーズを起業化する場】

#### (2) 九州・大学発ベンチャー育成支援事業 【自主事業】 13,500 千円

- ・九州の産学が一体となった地域経済発展の駆動力として大学発ベンチャーを振興することを目的に平成 29 年 2 月に設立した「九州・大学発ベンチャー振興会議」による大学の研究シーズの起業化を産学が連携して支援する。
- ・具体的には、九州の大学から提案されたベンチャー企業等の案件を九州・大学発ベンチャー振興会議において検討し、さらなる試作開発、市場調査、追加研究、認証取得等に必要な資金を九州・大学発ベンチャー振興会議のメンバーである大学・企業・VC 等が拠出した資金をギャップ資金として支援する。
- ・また、ギャップ資金を受けた案件に対し、成功報酬型コーディネーター等によるアライアンス・ライセンスアウト・マッチング等のコーディネートにより事業化を促進する。

#### (3) 九州・大学発ベンチャー・ビジネスコンテスト支援事業 【自主事業】 1,500 千円

- ・（一社）九州ニュービジネス協議会と連携して、将来のベンチャーシーズの発掘と地域における起業拠点としての大学の役割を支援するため、「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」を開催するとともに、大学における起業化教育を支援する。

#### (4) 第 4 次産業革命推進事業 【自主事業】 2,800 千円

- ・IoT の導入による新事業の創出を目的とする産学官連携組織の九州 IoT コミュニティ（事務局：九州経済産業局）と連携して、IoT 等を活用した生産性向上、新事業やビジネスモデルの創出、第四次産業革命の中核技術の IoT・AI・ビッグデータ等の導入と活用を支援するため、IoT 教育事業、人材育成事業（データサイエンティスト研修）、ワークショップ、セミナー、企業見学会、マッチング、展示会出展等の事業を行う。
- ・なお、第 4 次産業革命の推進は九州-沖縄 Earth 戦略のアクションプロジェクトの横断的分野の一つとして位置付けられている。

## 【九州の戦略産業を振興する場】

### (5) 九州の戦略産業の振興

【国の委託事業・自主事業】 94,800 千円

#### ① 環境・エネルギー分野

【国の委託事業】 28,300 千円

- ・九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）の事務局として、情報発信・提供、マッチング、技術開発、販路開拓、海外展開等の支援を通じ、新商品・サービス開発等の新事業の創出を推進する。
- ・具体的には、エコ塾・セミナー・ワークショップの開催、環境エネルギー分野の新しいビジネスチャンスであるサーキュラーエコノミー（製品寿命延伸・廃棄物ゼロのリサイクルシステム等）の研究会を通じたプロジェクトの組成、拡大するアジアの環境保全・修復ビジネスへの新規参入のための海外展開等の支援事業を行う。
- ・なお、環境・エネルギーは九州-沖縄 Earth 戦略の一つのクリーン分野として位置付けられている。

#### ② 医療機器・ヘルスケア分野

【国の委託事業】 28,300 千円

- ・九州ヘルスケア産業創出推進協議会（HAMIQ）の事務局として、九州における医療ヘルスケア関連産業への新規参入と健康寿命の延伸のためのヘルスケアサービスによる医療費の抑制を目的として、医療機器の開発、健康寿命延伸分野の市場創出及びヘルスケア産業の育成を推進する。
- ・具体的には、医療機器メーカーと医療現場のニーズとのマッチング、医工連携による新製品開発、医療関係学会との連携、海外市場動向の調査・商談会や遠隔医療に IoMT（Internet of Medical Thing）を利活用した新システム・サービスの開発や生活習慣病の予防に大きな役割を果たすヘルスケアサービスの新規ビジネスの創出を支援する。
- ・なお、ヘルスケアは九州-沖縄 Earth 戦略のアクションプロジェクトの一つとして位置付けられている

#### ③ 半導体・エレクトロニクス分野

【国の委託事業】 35,800 千円

- ・九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会（SIIQ）の事務局として、半導体・エレクトロニクス関連企業が医療・ヘルスケア、クリーン、農林水産・食品などへの参入を支援する成長分野参入促進セミナー、半導体・エレクトロニクス関連技術（ニーズ）と九州の大学等が有する技術（シーズ）とのマッチング等を通じた共同開発や事業化を推進する。
- ・また、成長分野への展開を支援する研究会やビジネス商談・シーズ発信事業、オープンイノベーションを実現するためのプラットフォームの構築に向けた実証等を実施する。

#### ④ スマート農業及び食品製造業分野

【自主事業】 2,400 千円

##### (農業イノベーション支援事業 1,200 千円)

- ・後継者不足、食料自給率の向上等の社会的な課題を解決するため、デジタル技術を利用した農林水産業の生産性の向上及びスマートフードチェーン技術の確立等を通じた農業イノベーションを支援する。
- ・九州経済産業局、九州農政局と連携して、スマート農業フォーラム等を実施し、農業イノベーションを支援する関連産業を育成する。
- ・なお、農業は九州・沖縄 Earth 戦略の戦略分野の一つの農林水産業・食品分野として位置付けられている。

##### (食品製造業イノベーション支援事業 1,200 千円)

- ・生産額 3.9 兆円、従業者数 14 万人と地域において重要な産業を形成する食品製造業の新規市場拡大、生産性向上を支援するため、輸出市場の解析・輸出仕様の新製品開発、輸出手続きや物流等を習得する人材育成を通じた食品製造業の輸出市場開拓等のイノベーションを支援することにより、その成果を農業の生産拡大・生産性向上につなげる。
- ・九州経済産業局やジェット口等と連携して、数回の研修セミナーと先進事例研究会を開催する。

## 2. 産業技術振興事業

### 【ニーズ・シーズ等の外部の経営資源や市場ニーズ等を探索し、事業化する場】

#### (1) オープンイノベーションによる産業技術の振興

【自主事業】 7,000 千円

##### ① 九州オープンイノベーション情報サイト事業 (拡充)

【自主事業】 4,500 千円

- ・九州オープンイノベーション創出戦略会議 (KICC) の枠組みと連携して、企業等のニーズとシーズのマッチングや情報提供を通じたマッチングやコーディネートによる新事業の創出を支援する。
- ・まず、九州内外の大手企業や未来牽引企業等のニーズを調査し、データベース化するとともに、九州の大学・高専・公設試・未来牽引企業等のシーズを調査し、データベース化を進める。また、KICC 構成機関の開放試験機器やコーディネーター等の情報のデータベース化を図り、九州オープンイノベーション情報サイト上で公開する。
- ・また、世界のオープンイノベーション拠点との交流により得られた情報や仕組み、国等の新事業創出関連の施策等もオープンイノベーション情報サイトに掲載し、利用の促進を図る。
- ・次に、オープン化したニーズ・シーズ情報を元に、企業と企業あるいは大学等とのマッチングを支援する活用サポート部隊を新設し、新事業の創出や販路拡大等の事業化を促進する。

- ・九州域外の大手企業のニーズの九州企業のシーズとのマッチングを図るため、専門の民間企業<sup>※</sup>を活用したマッチング会を開催する。  
※リンカーズ(株)、ナインシグマ(株)

**② 九州イノベーション創出戦略会議 (KICC) 【自主事業】 2,500 千円**

- ・九州イノベーション創出戦略会議(KICC)の事務局として、九州の63の大学・高専・公設試等の開放機器の利用促進を行うとともに、構成機関の各コーディネーターの連携を図り、コーディネーターのネットワークを通じた企業等の技術課題等の解決を図る。
- ・また、大手企業のニーズ説明会を開催し、オープンイノベーションによるマッチング等を行うとともに、九州オープンイノベーション情報サイトを活用したマッチング等を支援する。

**(2) 九州 Earth 戦略推進のためのオープンイノベーションによる新事業創出事業【JKA 補助事業】 17,010 千円**

- ・16名の非常勤のコーディネーターと5名の事業プロデューサーが九州の研究開発型中小企業を年間150社以上訪問し、ニーズやシーズ(コア技術)を発掘し、それを他の企業等とのマッチングやブラッシュアップを通して事業化を支援する。
- ・発掘した案件を事業化まで支援するため、事業推進委員会、コーディネーター会議、ブラッシュアップ研究会等の会議を開催する。
- ・また、産学連携による新製品等の試作や開発事業を支援する「機械工業振興チャレンジ研究調査事業」を公募し、5件程度を採択。実施した成果をJKA補助事業を通じて事業化につなげる。
- ・また、オープンイノベーションの発想による大手企業が必要とするニーズ(技術・ノウハウ・部材等)をオープンにする発表会を開催し、九州企業とのマッチングを通じ、新規の取引や事業提携等を支援する。

**(3) 戦略的基盤技術高度化支援事業 【国の補助事業】 156,951 千円**

- ・「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく、デザイン開発、精密加工、立体造形等の12の技術分野の新製品・サービス等の試作・研究開発を支援する経産省の補助事業(委託費)である戦略的基盤技術高度化支援事業(通称:サポイン<sup>※</sup>)を活用して、九州企業の基盤技術の開発とデジタル技術やビッグデータ等を活用した新製品・システムの開発と事業化の支援を通じ、九州企業の技術的なイノベーションを推進する。

なお、ものづくり基盤技術開発は九州-沖縄 Earth 戦略の横断的取り組みの一つとして位置付けられている。  
※: サポートインダストリーの略

**(4) 他機関との連携事業 【自主事業】 300 千円**

- ・中小企業のニーズを蓄積している中小企業基盤整備機構九州本部及び技術開発・技術相談の専門的知見を有する産業総合研究所九州センターとの連携により「九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー」等において、技術相談事業を行う。

- ・各県の産業支援機関や公設試のコーディネーターやマネージャーの情報をデジタル化によるネットワークを形成する。この人的なネットワークを活用し、様々な相談等に対する広域的なコーディネート活動を支援する。
- ・九州の特徴であるファインセラミックスの有効利用を検討する「九州ファインセラミックス・テクノフォーラム（KFC）」との連携によるセミナー等を開催する。

**(5) 企画委員会** **【自主事業】 250 千円**

- ・KOICの事業の戦略・企画・実績等を検討し、審議する企画委員会を開催する。

**(6) 国プロ物品管理事業** **【自主事業】 250 千円**

- ・戦略的基盤技術高度化支援事業の予算を使って購入した開発向けの設備機器の維持管理を行う。

### 3. 啓発普及事業

---

**【異業種が交流して新事業を創出する場】**

**(1) 九州異業種交流会** **【新規・自主事業】 1,000 千円**

- ・異業種の人材が自由に参加し、交流することにより、オープンイノベーションに必要な新しい発想やアイデアの醸成をするとともに、多様な人的ネットワークを形成することを目的として、KOIC会員、ものづくりやシステム・ITを活用する中小企業、データ・IoT・AIに携わるエンジニア、外国人・女性、デザイナー等がテーマに応じ自由に参加する異業種交流会を設置する。
- ・具体的には、「10年後の医療・介護、10年後のデータ活用社会、10年後のインバウンドビジネス」など10年後の未来を共通テーマとしたセミナー・ワークショップ・発表会を企画し、参加者を募集する。

**(2) 九州経済を考える懇談会** **【自主事業】 1,800 千円**

- ・九州の経済界のトップ<sup>※</sup>が一堂に会し、「九州経済のあり方や課題及び具体的な政策」を議論し、九州戦略会議・九州知事会及び国等へ意見具申・要望を行う懇談会を共同事務局の（公財）九州経済調査協会と連携して開催する。
- ・テーマの候補は、労働力確保、生産性向上、観光戦略、防災の広域連携、九州産業成長戦略（九州EARTH戦略）のテーマであるSDGsや九州の強みを活かしたデジタルものづくり、ビッグデータを活用した地域経済の活性化、九州におけるニューリーダー育成（経営力の継承）などを想定している。

<sup>※</sup>（一社）九州経済連合会会長、（一財）九州オープンイノベーションセンター会長、九州商工会議所連合会会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長、（公財）九州経済調査協会理事長

- (3) 地域技術交流事業** **【自主事業】 400 千円**
- ① **九州・沖縄地区国立大学法人産学官連携関連センター長等会議**
- ・九州、沖縄の国立大学法人と産業界等との共同研究の推進を図ることを目的として産学官連携に関する現状と課題、協力体制等について意見交換を行う。
- (4) 九州国際経済交流支援事業** **【自主事業】 2,900 千円**
- ・九州の国際化を推進する産学官組織である九州国際化推進機構（会長：九州経済連合会会長、KOIC は幹事会構成員）が実施する東アジア・ASEAN における地域間の経済・技術交流におけるグローバルオープンイノベーションの創出を目指した事業を支援する。
  - ・特に、九州国際化推進機構と連携して、九州全域・中国・韓国の環黄海第地域・都市で構成する 19 回環黄海経済・技術交流会議（熊本市で開催）における企業等のマッチングや 3 か国における規制緩和の要望等のビジネス課題の提案と検討を行う事業の支援を通じて、九州企業の中国・韓国でのオープンイノベーションによるビジネス展開を支援する。
- (5) 地域課題解決型公募事業** **【新規・自主事業】 3,900 千円**
- ・SDGs を取り入れた経営による国際ビジネスの展開や地域課題を解決することを目的に 2020 年 2 月に設立された九州 SGDs 経営推進フォーラム（事務局：九州経済産業局）と連携して、地域の社会課題を解決する様々な取り組みを支援する。
  - ・具体的には、地域のコミュニティ維持、子育てや独居高齢者等の見守り、空き家・廃校・耕作放棄地等を利活用した若者の仕事づくり、シニア層の社会参加などの地域課題を解決するシステムや仕組みの開発・試作・実証事業等を助成する。
  - ・事業者、NPO 法人等を対象として、上限 150 万円の全額補助の事業として公募し、2 件程度採択する。なお、IoT 等のデジタル技術の利用や自治体・教育機関と連携した事業を優先する。
- (6) 再生可能エネルギー産業拠点化を目指すアクションプラン** **【自主事業】 1,400 千円**
- ・（一社）九州経済連合会と連携して、再生可能エネルギーの導入と関連産業の集積を目指す再生可能エネルギー等の産業拠点化推進プロジェクトを九州・沖縄 Earth 戦略の戦略分野の一つであるクリーン分野のアクションプランプロジェクトとして推進する。
  - ・具体的には、これまでの事業を踏まえ、水素エネルギー、地熱・温泉熱エネルギー、海洋エネルギーの開発・導入及び関連産業の集積を目的として、実務者会議、再生可能エネルギー世界展示会等の出展やマッチング等を支援する。

## 4. 人材育成事業

---

### (様々な課題を解決する人材を育成する場)

#### (1) ネクストリーダー等の人材育成事業 【新規・自主事業】 1,000 千円

- ・企業や団体の経営幹部やネクストリーダー層を対象として、グローバル化・デジタル化が進む中での経営方法やオープンイノベーションの発想や構想及び実践事例等を習得するとともに人的ネットワークの構築するためのセミナーを開催する。
- ・具体的には、デジタル化、データの活用、技術とソフトウェア・システムの融合による新ビジネス等のテーマに沿った合宿形式の講演、事例研究、討議、交流会を開催する。

#### (2) 若手研究者海外研究交流支援事業 【自主事業】 6,000 千円

- ・九州の大学・高専等の若手研究者の国際的活動を支援するため、3か月から1年の短期・長期留学や、国際研究集会への発表等に対し、滞在費、渡航費を助成する。
- ・テーマはエネルギー等の自然科学分野とし、帰国後は成果の発表等を行う。

#### (3) 女性活躍促進事業 【自主事業】 3,500 千円

- ・労働力人口が減少する中、様々な新しい変革に対応するには、様々な特徴や能力を有した人材の活躍が不可欠となっている中、女性リーダーの輩出により、企業の総合力や変革への対応力の向上を図るとともに、男女共に働きやすく、生きやすい社会づくり活動を支援する。
- ・具体的には、女性管理職ネットワーク（WE-NET）を通じた女性管理職の育成を推進するとともに、九州の女子大学生を対象とした新しい時代のリーダー研修を行う。

## 5. 情報提供事業

---

#### (1) WEB サイト等による情報発信 【新規・自主事業】 2,000 千円

- ・ホームページ・メルマガ等を利用して、KOICの事業内容、研究会等で調査したデータ等、関連施策等の公募情報、関連イベント情報やニュース及び全国のオープンイノベーションに関する企業等の取り組みや特集等の情報を提供する。
- ・Facebook や YouTube 等の SNS を利用したセミナー等の動画配信を行い、リアルな情報を早く発信する。
- ・また、オープン・イノベーションベンチャー創造協議会をはじめ、九州の経済団体・産業支援機関・公設試・大学・国の機関とのリンクを設定する。

## **(2) 活字媒体による情報発信**

**【新規・自主事業】 500 千円**

- ・ KOIC の目的・活動を紹介するパンフレットを作成する。
- ・ KOIC の活動内容と成果、特に、研究会等での調査結果等をまとめた KOIC 年報を作成し、役員や賛助会員等に配布する。

## **6. 収益事業**

**【自主事業】 収入目標 27,000 千円**

---

### **(1) 成功報酬型コーディネーター事業**

- ・ 企業に継続的に出向き、課題を抽出し、それを解決する事業計画の策定から技術開発・販路開拓まで伴走型である程度成功するまで支援し、成功した場合に報酬を得る事業として、2016 年度から開始している。
- ・ 市場の変化に対応したビジネスや商品・サービスを開発中の中小企業やベンチャーを発掘し、継続的な事業化支援を通じて、イノベーションを創出するとともに、大学発ベンチャー振興会議のギャップ資金を受けた案件等の試作品やノウハウの事業化を進める。

### **(2) 産業技術事業化支援事業**

- ・ KOIC の非常勤コーディネーターと協働して、研究開発型企業を訪問して、技術課題や事業化等の課題を発掘し、有償で継続的にコンサルティング等を行う。